

平成9年度女子委員会全国連絡委員会会議報告

○期日 平成9年7月20日～21日

○会場 日本青年館

○参加者 川端朋子（長崎県女子委委員会理事、長崎県連絡委員）

○連絡委員46名が各県参加、女子委員会及び日本陸連協力者22名 合計68名

※今年度女性理事26県44名（昨年19県22名）

※女子委員会がある都道府県は18県

（宮城、福島、千葉、神奈川、新潟、富山、石川、大阪、兵庫、奈良、鳥取、島根、徳島、香川、高知、福岡、長崎県、熊本）

—以下は、日本陸連から各県理事長へのアンケート事項—

※国体女子役員1名義務づけの是非

賛成10、条件つき賛成2、否定8

※全国都道府県女子役員1名義務づけの是非

賛成30、条件つき賛成2、否定8

【会議報告】

（1日目）

- ① 全国連絡委員会議のねらい
- ② 日本陸連女子委員会前年度活動報告及び今年度組織改定後の活動方針
- ③ 1998年陸上競技女子年に向けての報告
- ④ ブロック別ミーティング（北海道・東北、関東、近畿、北陸・東海、中国、九州・四国）

テーマ『各都道府県女子委員会の組織作りと組織活動の充実』

※現在までに各都道府県やブロックでどのような活動が展開されてきているか

※各都道府県の女子委員会などの組織づくりと活動、今後の課題など

※陸上競技女子年（IAAFが設定）にあたり、各都道府県、地域で女子陸上競技普及を中心とした活動や行事について

※日本陸連女子委員会に対しても意見や要望

- ⑤ スポーツ活動と水分補給についてのビデオ上映
- ⑥ ティータイムをはさんで話し合いのブロック別発表

（2日目）

シンポジウム

「スポーツ競技団体の女子指導者がその競技団体組織（連盟や協会）にどのように関わり活動してきたか」

講師：荒木田祐子（日本バレーボール協会）

池田敬子（日本体操協会副部長）

桑原繁夫（東京卓球連盟理事）

三ツ矢洋子（女性スポーツ財団日本支部代表）

浜松ヨシ江（日本陸連女子委員長）